

## 全日本サーフキャスティング連盟 大阪協会 2 月度理事会議事録

平成 22 年 2 月 17 日（水）午後 7 時～

於：大阪産業創造館 6 階会議室 E 出席クラブ 42 クラブ

### ■池田協会長挨拶

連盟新年総会・45 周年記念祝賀会が無事に終了しました。協会の役員さん達には 2 日間お手伝いいただき有り難うございました。

・藤原副会長を議長として 19 時 05 分議事に入る。

### 第 1 号議案 全日本サーフキャスティング連盟新年総会報告（池田協会長）

平成 22 年度新年総会議事録

日時：平成 22 年 1 月 31 日（日）午前 10 時 12 分～11 時 43 分

場所：新大阪「メルパルク大阪」5 階カナーレ

#### ■議長選出

大田事務局長より出席者に対し、議長応募の呼びかけをおこなう。事務局長一任を受け、大石本部選任副議長を本会の議長に指名する。

#### ■総会成立要件の報告

大田事務局長より、有権者総数 210 名。総会出席者 63 名、委任状提出者 53 名、総会決議に同意 41 名、合計 157 名は全国理事の過半数を超えており、本総会成立要件を満たしているとの報告がある。

注・協会長、本部役員およびその他出席理事には自己の議決権以外に委任を受けた議決権を有して出席している方もいます。

#### ■岩田連盟会長挨拶

皆様あけましておめでとうございます。連盟総会にご参集いただき大変ご苦労様です。総会終了後に 45 周年の祝賀会開催と言うことで、例年の総会に比べ大勢の会員さんが出席されており、大変喜ばしく思います。釣り環境には大変厳しいものが感じられます。例年以上にそれらに取り組む思いですが、皆様にも今まで以上に協力を仰がなくてはなりません。その節は何とぞよろしくお願い致します。

#### ■平成 21 年度事業報告

各部局長

- ・大田事務局長 平成 21 年度の報告事項は総会資料 2～8 ページに表している。大きな項目として「入会の緩和策」について下記説明がある。

①クラブ登録を 5 名から認める。（復帰者編入も可）

②協会設立は 2 クラブ以上とする。

③初年度に限り連盟会費を免除する。（一人一回とする）

④準会員制度として 2 年間に限り、全日本サーフ会員として活動を認める。

⑤準会員の期間以降は正式会員として登録する。不可能の場合は準会員の期間中の活動記録は失う。

注・準会員全日本サーフの玄関から、一歩中に入っていたくための制度です。

- ・谷後事故防止部長 18 協会が講習会を開催したと報告がある。尚、未開催の協会には今年度は必ず開催するよう要請がある。

事故報告と救命器具について。

※兵庫協会 1 月 18 日 釣り大会の審査会場に於いて軽敏な接触事故。

※大阪協会 10 月 25 日 釣り大会中に海中に転落死亡事故。

※救命胴衣の着用を一層普及させることを目的に自動膨張式の商品が紹介される。連盟マークと協会のマークも入れ、全日本サーフ推奨商品に指定する。募集は 2 月以降におこない、価格は 1 万円以内に設定したい。

- ・野村会計部長 僅かではあるが余剰金発生の報告がされる。しかし、会員減少に歯止めが掛からないようであればマイナス収支になることが懸念される。
- ・としだ大物部長 昨年の大物申請は 24,459 件であった。今期から申請数の上位から順に大物還付金を復活させた。用途は協会に委ねるが、大物申請を推奨する運動費として活用願いたい。
- ・松井 S C 部長 繰越金の管理状況および S C 資材の管理状況などが資料提示とともに報告された。
- ・薦資材部長 物品販売状況と管理状況の報告があり、10 数年前に作成されたステッカーに経年劣化が見られるので、無償配布などの処置を講じたい。
- ・帷企画部長 キス段位制がスタートして満一年が経過した。未だ対象競技大会を開催していない協会もあると聞く。諸事情あつてのことと思いますが、よろしく開催していただきたい。尚、有段者はまだ居ないが級位申請は順調に伸びている。

#### ■監査報告

- ・議長より監査報告の要請があり、木村監査役、杉野監査役、宗貞監査役の三名を代表して木村監査役より、関連部署から帳簿・領収書その他関係書類一式の提出を受け平成 22 年 1 月 10 日「新大阪丸ビル会議室」において精査した。その結果すべて適正に処理されていることを確認した。よって本総会にて報告いたします。

#### ■事業（会計）報告と監査報告の承認

- ・議長は出席者に事業（会計）報告と監査報告の承認を出席者に求め、拍手多数により承認された。

#### ■平成 22 年度事業計画

- ・大田事務局長 今年度の事業計画について総会資料に基づいて説明がある。行事に大きな変更はないが、春、夏開催の S C 通信大会は協会主催として開催するようになりました。当日のレクリエーション保険については少人数では加入できないことがある。その場合は連盟包括保険に受け入れするので届け出てもらいたい。
- ・野村会計部長 予算案の発表がある。今期は役員の出張業務が多く予定されている。したがってその辺りが、例年に比べ予算アップしている。
- ・としだ大物部長 今期の大物申請の目標を 26,000 件としている。また大物システムの不備なども変更整備する予定である。
- ・帷企画部長 段位ポイント獲得が可能になるメーカー主催大会の一覧表を資料に明記してある。協会・クラブの行事日程協議のおり、参考にしてください。

#### ■各種表彰

- ・大物/S C の各種年間表彰と周年（大物・在籍）表彰がある。

#### ■協会長交代

- ・大阪協会 池田譲治氏 なにわキャスターズ会長
- ・大分協会 井上利治氏 ダイナミックサーフ会長

#### ■日本記録魚承認

魚名 ヒラスズキ 93.7cm（実寸 90.3cm）

釣り人 相原富雄 氏 愛媛協会 瀬戸内サーフ

釣り日 平成 21 年 12 月 12 日 釣り場 愛媛県宇和島市日振島

#### ■閉会

- ・議長の閉会宣言により、平成 22 年度新年総会は滞りなく終了しました。
- ・引き続き 45 周年祝賀会を同場所の 4 階宴会場ソレイユにて開催した。

### 全日本サーフキャスティング連盟 2 月度本部役員会報告（池田協会長）

平成 22 年 2 月本部役員会議事録

日時：平成 22 年 2 月 10 日（水）16 時 02 分～18 時 03 分

場所：新大阪丸ビル新館 5 階 500 号会議室

議事録作成者：本部書記 牧元和仁

■審議 1 平成 22 年度本部役員

## 岩田連盟会長

- ・今年度の本部役員案の名簿が配布され、改めて連盟会長より就任要請がある。出席本部役員（旧）は全て同意した。また、自然環境の保護に関し、全日本サーフとしても積極的に取り組む必要があります。その観点から本部機関に新部署として「環境部」を設置し、責任者として渡辺敏夫氏（兵庫協会・三ツ星サーフ所属）に環境部長の就任要請をおこない了解いただいた。同時に空席であった選任議長を池田譲治氏に（大阪協会長・なにわキャストズ所属）就任していただいた。尚、全ての本部役員は改めて 3 月常任理事会で発表する。

## ■審議 2 第 92 回全日本キス投げ釣り選手権大会

## P T 長崎協会

- ・尾上章司全キス P T 責任者（長崎協会事務局長）より、大会運営日程案が提出された。参加申込みの締め切り（5 月 27 日）を含めて概ね日程に支障面は見受けられないが 3 月常任理事会でも再度発表する。尚、この大会より P C メールの発信にて大会運営をおこなうので、各協会長または M 事務局には尾上 P T 責任者まで、メールしていただければ事前登録ができるのでお願いしたい。
- ・同時に釣り場責任者の方には審査票などと一緒に所定の事項を予め書き込んである「フラッシュメモリー」を同封する。したがって P C を操作できる方は必要事項を入力していただき、審査票と一緒に返送していただくようになる。

告・尾上全キス P T 責任者アドレス [trust21@mx.a.cncm.ne.jp](mailto:trust21@mx.a.cncm.ne.jp)

## ■審議 3 第 33 回東西選抜投げ釣り 100 人の会

## P T 本部/中部協会

- ・木村中部協会長より、競技会場については 31 回大会でおこなった場所を予定している。また審査役員は（1 ブロック 2 名）すべて中部協会の手配する。競技ルールの基本は例年通りとするが出発時にも詳しく説明する。特に競技開始は全選手がブロック入りしたことを確認し、ある程度の余裕を持てるよう工夫する。尚、競技会場の設営などで静投連にも協力を依頼する。
- ・岩田連盟会長より、従来ラッキー賞を全員に贈呈していた。しかし、時間が掛かり過ぎることが表彰式全体のマイナス要因となっている。したがってラッキー賞は若干数として、残りの協賛品はおみやげとして全参加者に持ち帰っていただく。

## ■審議 4 その他

## ■S C 関連

## 松井 S C 部長

- ・NSC 選手権大会（4 月 18 日開催/3 月 14 日参加申込締め切り）と S C 東海道オープン（9 月 12 日、同/8 月 15 日、同）の要項配布がある。尚、大会問い合わせが会員さんから、直接 S C 部まで届く。協会時点の詳細は本部では回答できないので、大会要項配布時によく説明しておいてください。
- ・昨年の S C 選手権大会に於いて投擲したオモリが防護ネットを突き抜けると言う事故が発生した。幸い人身・物損ともに被害は無かったが、ネットを検証した結果このままでは事故の再発が予見されるので、新しい防護ネットを購入する必要があると判断された。
- ・岩田連盟会長より、松井 S C 部長に対し、5 月協会対抗戦に間に合うよう複数から見積を徴収してほしい。購入は 3 月常任理事会に於いて了承をいただく。
- ・S C 通信（春季・夏季）大会は今期から協会主催となった。釣り保険に付随してある仮称 S C 保険（個人賠償 1 億円）とは別に当日参加者のみ上乗せ加入のレクリエーション保険は今まで通り連盟包括加入することができる。（協会主催の釣り大会も同様）。同時に主催者に事故責任を問われたときのため主催者賠償保険に加入しておくことが賢明である。
- ・上記保険の詳細について S C 大会は松井 S C 部長。釣り大会は渡部広報部長まで問い合わせをしてください。

## ■ライフジャケットについて 谷後事故防止部長

- ・1 月総会で発表した自動膨張式ライフジャケットを全日本サーフ推奨品として 3 月常任理事会にて購入案内をおこないます。商品には全日本サーフのロゴに協会ロゴ（任意）を付けています。尚、販売の取り扱いは資材部になります。

■総会・祝賀会について 大田事務局長

- ・両行事の諸費用の報告があった。詳細はあらためて 3 月常任理事会にて説明とともに報告する。
- ・総会資料は一クラブ一冊を基本として配布している。多くは総会当日に持ち帰っていただき、欠席協会には送付しました。まだ若干の冊数があるので希望の協会があればご連絡ください。

■会員登録について 宗貞事務局次長

- ・2 月 10 日までに届いた 22 年度会員登録の報告があった。多くはこれから届くと思うが、名簿には会員情報として継続・新規・復帰の区別する項目を設けてある。これにより、今期から新制度として取り入れられた初年度連盟会費の免除者などを識別するようしているため、必ず記入してください。

■記念誌について 野村会計部長

- ・販売詳細を再度明確にしてほしい。
- ・岩田連盟会長の回答では、販売の対象者は平成 21 年度在籍者です。したがって 22 年度になって継続登録しない方（クラブ）が居ても購入冊数の減とはなりません。尚、平成 22 年度新規登録者には無料プレゼントいたします（平成 21 年 8 月、9 月議事録）。また代金は平成 22 年度連盟登録会費と一緒に納付願います（平成 21 年度 11 月議事録）。

■キス段位 帷企画部長

- ・本日級位認定章を授与する予定でしたが認定プレートに手違いがあり、3 月に改めておこないます。

■大物システムについて としだ大物部長

- ・各協会の大物部宛に名簿入れ替え（退会・移籍）変更の届出をするよう依頼したが一件も報告がない。該当する協会さんは直ちに連絡をしてください。
- ・クラブ別大物ベストスリーの三クラブ（大阪・滋賀投友会/愛媛・西条プリマサーフ/兵庫・レインボーキャスターズ）は会員集合写真に会長の受賞コメントを添えて 3 月 15 日必着で大物部長まで提出してください。
- ・大物関連として岩田連盟会長より、バッジ製作についての対策を常任理事会に諮るとともに早急な措置を講じていきたい。

■会報「投げ釣り」について 伊達編集部次長

- ・各協会に発送する冊数について 22 年度分を 3 月常任理事会にて報告していただきたい。

**第 2 号議案 大阪協会初釣り大会報告（PT：大阪黒潮サーフ）**

- ・初釣り大会について PT から報告があった（2 月 14 日開催）。当日は、天気にも恵まれ、事故も無く無事終了した。
- ・団体優勝は、門真サーフ、2 位は、大阪黒潮サーフ、3 位は、貝塚サーフとなり、門真サーフは秋季大会の PT を引き受けて頂くとの報告があった。

**第 3 号議案 SC 春季通信大会について（小山 SC 事務局長）**

- ・本日、受付を行っています。大会会場については、和泉市の方で開催することになりましたが会場の地図を配布しているので参加される方は、持って帰って頂くようにとの説明があった。
- ・NSC の SC 大会が、4 月 18 日に開催されるので参加希望者は 3 月 10 日までに、また、SC 東海道オープン大会が 9 月 12 日に開催されるので、参加希望者は 8 月 10 日までに、SC 事務局まで連絡をして下さいとの依頼があった。

**第 4 号議案 クリーンアップ活動について（池田協会長）**

- ・昨年と同じ淀川で開催したいと考えている、先日国交省へ連絡をして、ゴミの集積場所について昨年は、地元周辺から苦情があったと伝えた。来週に国交省へ訪問して詳細な話しをする予定であるが、手袋やゴミ袋は希望通り配布できるかは不明との事である。活動範囲は、少し縮小するので、協力をお願いしたいとの報告があった。

**第 5 号議案 故吉本協会長追悼釣り大会について（池田協会長）**

- ・故吉本氏の追悼釣り大会については、春季大会時に開催する予定であるが、連盟長と吉本氏の長男（典夫）と話をされて、典夫氏から稚魚の放流をしてほしいとの希望があり、西大阪サーフと相談し、オープン大会で稚魚の放流も兼ねて開催すればどうかと、全員に回り、日程の変更について承認された。  
したがって、春季大会は通常どおりの開催となるので、初釣り大会で団体優勝された門真サーフは、春季大会の PT となる旨了承された。当日、大まかな大会要項（対象魚・会場）を決定し、正式案内は至急作成し配布を行い 3 月理事会で参加申込を受付する。

#### 第 4 号議案 その他

- ・事務局より、全日本キス大会の会場申請について説明があった。大阪協会からは、串本会場（大阪アングラーズ）と古江会場（長居 FC）の希望があった。追加があれば来月の理事会でも申請を受け付ける。
- ・事故防止委員長より、今年度の協会での事故防については、各クラブでは無く協会として講習会を開催することが決定された。開催日程については未定であるが会場については産業創造館を予定している。
- ・広報部より、協会ホームページに初釣り大会成績と協会役員一覧が掲載された。クラブ紹介については随時受け付けているので変更がありましたら広報部まで連絡をとの依頼があった。
- ・大物事務局より、大物システムの新規 ID 追加発行やシステム変更内容について説明があった。  
※協会記録について報告があった  
魚名 ヨメゴチ 長さ 拓寸 51.0 cm 釣人 松本 喜安氏（大阪投友サーフ）  
釣日 平成 21 年 12 月 1 日 釣場 宮崎県宮崎市港
- ・協会ロゴについて、現在 2 件の応募が来ている採用された作品には、ライフジャケットを進呈させていただくので多数の応募をしてほしいとの要請があった。
- ・初釣り大会の開催について、釣れない時期であり、次年度からの開催について意見を聞く意見として、開催時期の見直しや開始時間等の発言があった。今後の開催については検討するとの報告があった。
- ・会員登録について事務局から、今年度の登録は、42 クラブ 524 名であるとの報告があった。
- ・大物賞申請による還付金の返還が上位 10 クラブに対して行われた。

20 時 15 分閉会